

旧金融機能強化法に基づく経営強化計画の履行状況の概要（平成21年9月期実績）

〔平成18年11月13日 資本参加：紀陽ホールディングス 315億円、平成18年12月18日 資本参加：豊和銀行 90億円〕

1. 経営改善の目標

1) コア業務純益ROA

（単位：％）

| | 計画始期の水準 | 21年9月期 | | 始期比 | 計画比 | コメント |
|----|---------|--------|-------------|--------|--------|--|
| | | 計画 | 実績 | | | |
| 紀陽 | 0.65 | 0.60 | 0.52 | ▲ 0.13 | ▲ 0.08 | ○ 貸出金の平均残高及び利回りが計画を下回ったこと等によりコア業務純益が計画を下回ったこと、総資産が計画を上回ったことから、コア業務純益ROAは計画を下回った。 |
| 豊和 | 0.69 | 0.69 | 0.55 | ▲ 0.14 | ▲ 0.14 | ○ 貸出金の平均残高及び利回りが計画を下回ったこと等によりコア業務純益が計画を下回ったこと、総資産が計画を上回ったことから、コア業務純益ROAは計画を下回った。 |

2) 業務粗利益経費率（OHR）

（単位：％）

| | | | | | | |
|----|-------|-------|--------------|--------|--------|--|
| 紀陽 | 64.13 | 55.70 | 55.50 | ▲ 8.63 | ▲ 0.20 | ○ 業務粗利益が国債等債券関係損益の大幅な改善により計画を上回ったことから、OHRは計画を下回った。 |
| 豊和 | 49.20 | 53.04 | 57.62 | + 8.42 | + 4.58 | ○ 業務粗利益が計画を下回ったこと、経費が教育・研修関連費用や監査報酬等の増加により計画を上回ったことから、OHRは計画を上回った。 |

3) 不良債権比率

（単位：％）

| | | | | | | |
|----|------|------|-------------|--------|--------|---|
| 紀陽 | 3.96 | 3.90 | 3.71 | ▲ 0.25 | ▲ 0.19 | ○ 経営改善支援によるランクアップや債権回収・オフバランス化の進捗等により、不良債権比率は計画を下回った。 |
| 豊和 | 5.06 | 5.04 | 4.33 | ▲ 0.73 | ▲ 0.71 | |

2. 中小企業金融の円滑化の目標

1) 中小企業向け貸出残高・比率

（単位：億円、％）

| | | | | | | | |
|----|----|--------|--------|---------------|--------|--------|--|
| 紀陽 | 残高 | 10,658 | 10,720 | 10,585 | ▲ 73 | ▲ 135 | ○ 緊急保証制度の活用を含め資金ニーズの回復が予想以上に遅れたこと、新規取引先の開拓が既存取引先の減少分をカバーできなかったこと、不良債権の売却・償却等を積極的に進めたこと等から、貸出残高、貸出比率ともに計画を下回った。 |
| | 比率 | 30.63 | 30.63 | 30.17 | ▲ 0.46 | ▲ 0.46 | |
| 豊和 | 残高 | 1,738 | 1,743 | 1,758 | + 20 | + 15 | ○ 緊急保証制度の活用等により、貸出残高は計画を上回った。法人定期預金の増加等により総資産が増加し、貸出比率は低下。 |
| | 比率 | 37.41 | 37.42 | 37.05 | ▲ 0.36 | ▲ 0.37 | |

2) 経営改善支援先割合

（単位：％）

| | | | | | | |
|----|------|------|-------------|--------|--------|--|
| 紀陽 | 1.34 | 1.40 | 1.90 | + 0.56 | + 0.50 | ○ 経営相談や経営改善計画の策定支援、事業再生支援等の取組みにより、計画を上回った。 |
| 豊和 | 2.21 | 2.33 | 1.01 | ▲ 1.20 | ▲ 1.32 | ○ 緊急保証制度を主体に中小企業向け貸出に取り組む一方、小口ビジネスローン（担保・保証に過度に依存しない融資）の慎重な取組み姿勢を維持したことから、計画を下回った。 |